

授業科目名	授業時間
都市鉱山開発の課題と未来展望	3
担当講師名	所属
大木 達也	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
<p>授業の目的</p> <p>我が国は多くの金属資源を海外からの輸入に依存し、常にその供給リスクを抱えている中、都市鉱山を固有の金属資源として安定利用するための課題を把握するとともに、産業構造を循環型にシフトするための技術思想について理解する。</p>	
<p>授業の概要</p> <p>1) 従来の廃棄物処理の延長である「量のリサイクル」から、金属資源再生利用を主眼とした「質のリサイクル」への変換の必要性と、技術的な課題について解説を行う。</p> <p>2) 都市鉱山を金属資源として安定利用するための要件と、その実現に必要な個別技術、戦術的あるいは戦略的な対応について説明するとともに、単に静脈産業の開発に留まらず、動-静脈産業が連携した未来の都市鉱山開発について技術的な視点から解説する。</p> <p>なお、この科目は「実務家教員や実務家による授業」に該当します。</p>	
<p>受講生の達成目標</p> <p>都市鉱山開発の現状の課題と、金属資源の再生利用を実現するための技術思想や、それを実現するための産業変革や社会システムのあり方について理解する。</p>	
<p>成績評価の方法と基準</p> <p>講義内容に沿ってレポートを課し、総合的な達成度の評価を行う。</p> <p>各種課題、レポートなどを総合評価し、60%以上の達成度で合格とする。</p>	
<p>教科書・参考書</p> <p>教科書は用いず、配付資料等により授業を進める。</p>	